

科目コード	ナンバリング	単位数	学期	授業区分	科目区分	履修区分	配当学年	
44001	X-13-B-2-440012	2	後期	【1年次生】国際学部国際文化学科	×	×	×	
				【1年次生】国際学部国際文化学科英語集中コース				
授業科目	担当教員			【2年次生以上】国際学部国際文化学科	×	×	×	×
				【2年次生以上】国際学部国際文化学科英語集中コース	×	×	×	×
				【1年次生】経営情報学部経営学科	専門	選択	2年	
				【1年次生】経営情報学部情報システム学科	×	×	×	×
経営戦略	土屋 翔			【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科経営コース	×	×	×	×
		【3年次生以上】情報文化学部情報システム学科情報コース	×	×	×	×		

授業目的

本講義では、経営学において重要な学問である経営戦略の理論を学ぶ。また、実践的な事例を通して理論習得を深める。さらに、経営戦略の代表的な理論やキーワードを使って実際の企業について分析できることを身につける。こうしたことを学ぶことによって「健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決に当たることができる」人物像を目指す。

各回毎の授業内容

第1回 【授】イントロダクション（ガイダンス） 【前・後】提示資料の復習をする。復習に4時間 第2回 【授】経営戦略の体系 【前・後】提示資料の復習をする。予習復習に4時間 第3回 【授】デザイン・スクール 【前・後】提示資料の復習をする。予習復習に4時間 第4回 【授】プランニング・スクール 【前・後】提示資料の復習をする。予習復習に4時間 第5回 【授】ポジショニング・スクール 【前・後】提示資料の復習をする。予習復習に4時間 第6回 【授】アントレプレナー・スクール 【前・後】提示資料の復習をする。予習復習に4時間 第7回 【授】コグニティブ・スクール 【前・後】提示資料の復習をする。予習復習に4時間 第8回 【授】ラーニング・スクール 【前・後】提示資料の復習をする。予習復習に4時間	第9回 【授】パワー・スクール 【前・後】提示資料の復習をする。予習復習に4時間。 第10回 【授】カルチャー・スクール 【前・後】提示資料の復習をする。予習復習に4時間 第11回 【授】エンバイロメント・スクール 【前・後】提示資料の復習をする。復習に4時間 第12回 【授】コンフィギュレーション・スクール 【前・後】提示資料の復習をする。復習に4時間 第13回 【授】応用試験 【前・後】今まで習ったキーワード・理論を使って、実際の企業の事例に当てはめて分析する。 予習復習に4時間 第14回 【授】今後の戦略における見地 【前・後】提示資料の復習をする。予習復習に4時間 第15回 【授】本講義のまとめおよび応用試験答案のフィードバック 【前・後】総まとめ、復習に4時間。 第16回
---	---

成績評価方法

	知識・理解	思考・判断	関心・意欲	強調・指導力	発表・表現	その他	評価割合(%)
定期試験							
小テスト・授業内レポート							
宿題・授業外レポート							
授業態度・授業への参加							30
成果発表（口頭・実技）							
演習							
その他							70

応用試験（小論文 A 4 両面 2、3 枚、持ち込み不可）：70%、授業態度・授業への貢献度：30%、で評価する。

第15回の授業で、応用試験の優秀答案や答案の解説、改善等のフィードバックをする。

教科書参考書

教科書：なし

参考書：H. ミンツバーク『戦略サファリ 第二版』。ただし、この分野は、日進月歩で常に変化しているので、随時、最新情報等の資料も紹介・配布する。

受講に当たっての留意事項

1. 状況によって講義内容の順番が前後する。または、他の内容に置き換える可能性がある。
2. 試験は論文形式のため、文章を書けるように努力する。
3. 資料は、配布しない。当日、提示するものを書き取る。
4. 講義開始前に、前講義のフィードバック、時事問題を多数扱う。

学習到達目標

1. 企業と経営戦略の関連性およびその仕組みを理解し、基本的な理論や専門用語を使って企業の経営戦略について説明できるようになる（授業への参加：30%）。
2. 経営戦略の観点から企業、社会について分析・考察できるようになる（応用試験：70%）。

JABEE

関連する学習・教育到達目標：E、I

【授】：授業内容【前・後】：事前・事後学習